

令和4年度 山王保育所事業報告

1. 概要

①運営報告

- 昨年に引き続き保育所入所申込数が激減しており、90名の利用定員のところ4月1日時点で83名の入所、年度末の3月で89名でした。また、ベトナム籍スタッフも雇用し、言葉の面でも子育ての支援に努め、中途入園される方の国籍はベトナム籍が急増しました。
- 園長が中心となり、中間層の職員育成を行い、チェック表の作成等、現場全員で取り組みました。
- 質の向上につながるよう園内研修を実施し幼児期までに育てたい10の姿や5領域等、改めて勉強し、おたよりやドキュメンテーションで発信しました。
- 業務の効率化を図るため、スマートフォンやパソコンを活用し、各研修や保育風景を動画等で共有し、円滑な連絡、保育の質の向上などに役立てました。
- 給食の委託を行い、業務効率化を図りました。

②定 員 90名

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

⑤保育時間

（保育標準時間） 平日・土曜日 7：30～18：30

（保育短時間） 平日・土曜日 早朝保育 7：30～ 8：00
通常保育 8：00～16：00
延長保育 16：00～18：30

⑥職員数

園長1名 主任1名 保育士16名（パート保育士1名 パート派遣保育士3名）
パート看護師1名 栄養士2名 調理員 2名（うちパート調理員2名）、保育補助 2名
環境整備 2名 計28名
嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラスの編成及び職員配置	定員	利用定員	(4月実績)
0歳児 さくらんぼ組	4名	3名	保育士1名
1歳児 いちご組	16名	12名	保育士3名
2歳児 もも組	18名	18名	保育士3名
3歳児 くり組	18名	16名	保育士1名（3歳児対応加配保育士1名）
4歳児 みかん組	18名	18名	保育士1名（障がい児加配保育士1名）
5歳児 かき組	16名	16名	保育士1名（障がい児加配保育士1名）
合計園児数	90名	83名	保育士計13名

⑤保育内容

- 0歳児から5歳児までの発達過程と子ども一人ひとりの育ちの背景を理解した上で、指導計画を立て、導入を大切に、子どもが「気づく、試す、面白い、もう一回」を繰り返す保育を行い、意欲と主体性を育みました。
- リトミックでは、ピアノの音を集中して聴き即時反応や、身体の使い方を丁寧に伝えます。また、「朝の意味ある運動」では保育者や子ども同士共感し合い、子ども自らが楽しむ事を目的としていますが、なかなか保育者主体になっている事も多く、課題がありました。
- 乳児期は保育士との愛着関係のもと安心して過ごせるよう「じゃれつき・運動遊び」を毎日取り入れました。
- 保育士の指示や声掛けが多くなっていることが多いので、子ども達に必要以上の声掛けはせず、なるべく子どもの姿を観察し見守るように心がけました。子ども自らが興味を持ち考え行動しようとする保育にはまだまだ課題があります。

- 年齢により出来るだけ少人数で、緩やかな育児担当制にて保育を行いました。特に低年齢で保育室のは囲いを取り、1カ所に子どもを集めない等、改善すべき部分の見直しを行いました。
- リーフレット「種をまこう」を教材として月1回人権教育を行いました。
- コロナの影響で栄養士、調理師が給食時間に各クラスを巡回できないままで、子どもとの交流や食育について今年度も実施できない事が多かったです。クッキングは2回行いました。
- 外部講師による、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導、絵画指導を行いました。また、今年度より月2回の体育指導も始まり。2, 3, 4, 5歳児で取組ました。子どもたちの取組姿勢も変わってきました。
- 感染予防対策を行いながらも子供の成長に繋がり保護者の方々に飲んで頂けるよう、行事内容を見直し計画を立て進めました。

⑥家庭との連携

- 保育参加（年2回）・クラス懇談会・個人懇談会・家庭訪問・（各年1回）を通して保育理念、方針、クラスの取り組みを丁寧に伝え理解を求めるとともに、保護者の思いを聞き取りながら、子どもの育ちを双方で確認し合い、家庭と連携を図りました。
- ドキュメンテーションと YouTube（山王ちゃんねる）でその日の子どもの姿や保育のねらいを見える化し分かりやすく保護者に伝えました。また「さんのうだより」の内容について精査し、より有意義な情報発信に努めました。
- 外国籍の子どもが全体の30%以上在籍しています。互いの文化を認め合いながら、ポケトークや外国籍スタッフによる通訳、写真などを用いコミュニケーションを図り、戸惑いなく保育所生活が送れるように支援しました。
- 配慮の必要な家庭については、市内各区の子育て支援室と連携し情報を共有し、必要に応じ子ども相談センターや、ケースワーカーと共に支援を行いました。
- 発達障がいのある子どもの家庭には、毎月、面談で保護者と一緒に個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と連携を図りました。今後は情報の共有が課題です。
- 卒園児・転園児とその保護者への支援について、卒園・転園後も継続して行い、子どもたちを見守り、主任が相談窓口として受け付けました。卒園時の来園あり。

⑦人材育成

- 園長や主任だけが行う仕事を極力減らし、中間層の育成を行うことで、仕事の効率化を図りました。
- 「一日の保育の流れ」や「入園のしおり」を使い主任保育士、リーダーが中心となり再度見直しを行いました。まだまだ周知できていない事もあるので今後の課題です。
- 毎月1回グループ毎に集まり自分の思いや相手の思いが伝わる機会を設けました。互いの意見を受け止め認め合う時間を作りました。
- 園内の情報や困りごとは速やかに園長、主任保育士に報告・連絡・相談を徹底し、全職員が共有できる組織体制づくりに努めました。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修やWeb研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法

人理念・方針を達成できる職員育成に努めました。また、キャリアパス研修参加の機会を図りました。

- 定期的に大学教授等講師を招き研修を行い、保育の質の向上に繋げ、目標意識を持つ事で離職の少ない職場を目指し、今年度も正職員の退職者はいませんでした。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信をしました。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00~11:00)

第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行いました。

第1. 3. 4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加。

- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行いました。

地域活動

- 地域の保育所等とはコロナの関係で交流は行いませんでした。
- 山王老人会や、隣接している老人施設みどり苑での交流もコロナの為中止。
- 就学先の小学校を訪問し、各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをしました。
- 小学校主催の「金塚祭り」に参加し、小学生と交流しました。
- 高校生の職場体験学習を行いました。
- 西成警察署と連携し、地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加しました。
防犯訓練を合同で行いました。
- ボランティア学生の受け入れをしました。

⑨苦情処理

- 特になし

⑩リスクマネジメント

- コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、健康観察表に体温等記入し体調チェックを行いました。
- 職員は子どもと昼食をとらず、別に昼食をとりました。(コロナ対策)
- 「よい子ネット」を利用し、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行いました。また非常災害対応については、3月の個人懇談会で一人一人に伝え、緊急連絡先の確認を行い次年度に備えました。
- 危機管理委員会を中心に危機管理マニュアルの見直しを園内研修計画に位置付け、パート職員を含め全職員に行き渡るように周知しました。
- 保健年間計画に基づき、感染症、SIDS対応、誤飲・誤嚥、予防接種、食中毒、救急看護等の園内研修を行いました。特にSIDS、誤飲・誤嚥、アレルギー、誤食、溺水、吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えました。

- ヒヤリハットを気付く毎に記入し職員会議で話し合うことで怪我や事故を未然に防ぎ子どもが安全に過ごせるように努めました。
- 災害に備え備蓄品等防災用品の確保と点検を行いました。次年度購入予定。
- 月1回防災訓練を実施しました。(火災、地震、津波、台風、消火訓練、通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災、消火、地震)
- 防犯訓練を行いました(西成警察と連携)

⑪その他

- エアコン入替え又は分解洗浄 5月
- 防犯カメラ買換え 5月
- パソコンの購入(1台) 7月
- 防災ロールマット 7月
- クロス張替工事 8月
- ドローンによる園内撮影 9月
- ベンティエール工事 1月